

# 人形達の夏 カーニバル'89



来年の再会が楽しみです

飯田市を中心とする伊那谷には古くから、黒田人形・今田人形・早稲田人形などの伝統人形浄瑠璃や田楽猿楽や古式神楽の面影を残す多くの伝統民俗芸能があり、その宝庫と云われています。昭和五十三年、各地の人形劇人が集まり、全国的な人形劇の祭典の企画が提案され、国際児童年にあたる翌年、この飯田市で記念すべき第一回人形劇カーニバルが開催され、以後毎年盛夏の八月に開催され続け、昨年は世界人形劇フェスティバルが大成功に終わり、今年には第十一回目を迎えます。

竜丘では五地区と竜丘

今回で十一回目を迎えた「人形劇カーニバル'89飯田」が、八月三日から六日まで開催された。期間中、全国から集まった二百四十三劇団、千四百余人の劇人たちが、暑い日さしの中で、百九十四回の公演を行い、六万人を超える観客数となった。人形劇の街飯田は、この間、保育園や公民館などの公演会場は、どこも盛況で熱気に包まれた。



国は違えど心はひとつ (小学校公演交流会)

小学校体育館の計六ヶ所で分散公演がおこなわれ二千三百三十人の観劇者数があり、幼児から大人まで家族で楽しめ、テレビや映画と違って生の人形劇とあって、子供達もくいている様に舞台を見つめ、心から楽しんでる姿が各公演会場で見受けられた。小学校体育館では、インドから来日したコミュニティー人形劇場



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
上郷町黒田 22-5353

人 □ 6,278 人  
男子 3,024 人  
女子 3,254 人  
世帯数 1,749 戸  
(10月末現在)

## 達者で なごめし

### 敬老会

去る九月十五日敬老の日、竜丘小学校体育館に於いて竜丘地区「敬老会」が行われました。

当日は、残暑きびしく汗ばむ程の会場に、対象者四百七十五名中、約二百名の参加者が集い盛大に開催されました。開会の辞、祝辞に引き続き小学生児童三人が作文の朗読を行い、参加



あんた百までわしゃ九十九まで

民謡が始まる頃には少々お酒もまわってきてか、楽しい笑い声が随所に聞かれる様になりました。又「飛び入りコーナー」として、隠し芸や自慢のものを披露していただけの方を募ったところ、予想以上の有志が殺到し、司会及び関係者はうれしい悲鳴をあげていました。

その他「歌う語り部」「エッチャ・ムッチャミニコンサート」と題した記念行事が行われました。桐林

## 私の提言

### 地区内公園の 拡充を望む

木下

鈴岡城址公園は駄科の北方高台に位置し、周囲は北から東を経て南に至る一帯が峻険な幽谷に包まれ、西は小高い段丘となっていて登り切ると遠見原であり、この大自然を一望することが出来るなど街ぐるみの文化運動となりつつある。反面海外の人形劇ということで雰囲気づくりの難しさや、会場と劇内容とのバランスの配慮など、いくつかの反省点が出された。又これまで行って

増し、絵画に描き出されたような素晴らしい景観に胸を打たれる。本丸、出丸には老松の緑が陽光に映えて鮮やかである。城の歴史を語る記念碑や公園碑も見る事ができる。外濠、内濠



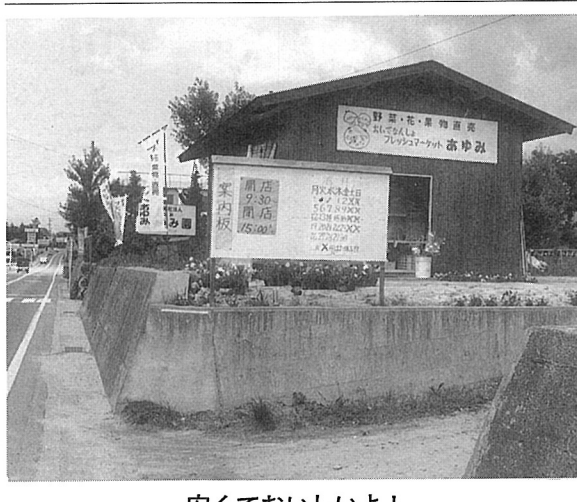
木下

人の数は益々増加するものと考えられるので、都市計画公園として是非取得され駐車場を始めトイレ、東屋拡充整備を望む次第である。次に万寿山公園は共和国等による桜木の肥培管理が

## 新鮮さが うけてます

桐林園道沿いに、「フレックスマーケットあゆみ」がオープンして、早、三ヶ月を迎えました。この店舗は、福祉法人あゆみ園(実原光治園長)が、園生の高令化、重度化が進む中で、生きがいある新しい授産活動としていく事と共に、開かれた施設として地域との結びつきを深めて行く事を目的にしています。

園では、現在約三十名の園生が二つの班に分かれて、それぞれ授産活動(労働)によって自立を目指す)に励んでいます。



安くておいしいよ!

果物、花を用意して下さっているそうです。売り上げの方も「新鮮だ」「値段も安い」といった声が聞かれる等、地元の方も中心に固定客があり順調な様です。又携わっている園生の方も

秋も深まり、朝夕の寒さも日増しに厳しくなっています。今日此の頃、どんどんと冬に近づいてく。又今年もスパイクタイヤによる粉じんが悩まされなければならぬ季節がやって来る。

確かに、冬場、車の運転の安全確保には、手軽で便利・効果もすぐれているスパイクタイヤを使うのは、当然と言えば当然であろう。「多少の粉じんが出ても、事故をするぐらいなら」と良くない事は、わかっているという人も多いであろう。

雪が降ったら早起きをして安全確保を第一に、こまめにタイヤの履き換えを。



# 守ろう地域の貴重な財産

## 「古墳を考える会」発足

去る九月五日、「古墳を考える会」の発足総会が、古墳所有者を含む地区民、飯伊地域の有識者五十名余の参加を得て盛大に開催された。

当地区で、古墳に着目した取り組みが一般住民の継続的な組織活動として行われるのは始めてのことであり、この会の活動を契機に古墳保存の気運が、地域を巻き込んだ広がりをもった運動へと発展していくことを期待したい。

### 〈発足までの経過〉

「古墳を考える会」は、昭和六十一年に公民館の呼び掛けにより発足した竜丘フォーラム（地域づくりを考える集い）から生まれた組織である。フォーラムでは、地域の現状と、そこにおける課題を学習してきたが、その過程の中から導き出された重要課題の一つとして「竜丘固有の貴重な財産でありながら、時代の推移とともに確実に失われてきている古墳をどう保存していくか」という問題が提起された。検討を重ねた結果、この課題を将来に亘って考えていくには、テーマ

### 〈会員の共通認識〉

を古墳に絞り込んだ専門組織を結成することが必要であるとの意見集約がなされ、以後、公民館文化委員会との関わりの中で、数回の学習会を行い、気運を高めた。昨年末からは、公民館長の委嘱による企画委員が具体的な発足準備を進めてきた。

総会の中では、会の発足に至る社会的、地域的な背景を含めた幾つかの事項が、会員の共通認識として確認されている。

### 〈会員の共通認識〉

①竜丘は県下でも有数の古墳の宝庫（密集地）であり、五世紀頃から突如として前方後円墳が築造された点等全国的に見ても特徴的な地域であること。②国道一五号線沿道等の開発が急速に進み、今後それに伴う古墳の破壊、喪失が進行する

危険性があること。③社会の画一化が進み、地域が個性を失いつつある現在において、地域固有の素材を活かしながら個性的で魅力ある地域づくりを行っていくことが地域の生き残る道であること。④古墳の存在はこの竜丘の地がその当時から住みやすく、文化の香りの高い地域であったことの証であり、古墳は地域のシンボルであること。⑤古墳を考えることを、生涯学習の機会としても役立て、世代を越えて取組みを行っていくことのすばらしさ。

## 「今よみがえる」長野原の歴史 小字地図完成

長野原公民館では、昔からの土地の区画の名を表した『小字』を復元しこのほご地図を作った。

長野原の戸数は十年前の二倍以上に増えている反面古くから使われて来た小字は年々忘れられ、老人が減るにつれ、かつての長野原を知る人はいなくなってしまうと、二年前の六十二年二月に小字研究会が発足がされ調査を進め、この七月に終了し、地図として地区

全戸に有料で配布をした。小字研究会は、公民館長をはじめ六名で組織され、昔の土地台帳を根拠よく調べ写す作業を続け、館長の塩澤裕さんは苦勞を振り返る。

でき上がった地図は縦七センチ、横五センチで、地図には別表として、各小字の面積も載せられている。昔から水不足に悩まされて来たこの地区は、中世に伊賀良より大井用水を駄科を経由して引いた地区でもあり、地図の中の小字名には、この大井用水にちなんだ、大井端、大井田など大井のつく地名が目立つ。又、神社の称宜（ねぎ）が住んでいたと見られる称宜屋、長石寺の関係で護摩を焚くお堂があったのではないかと推測される五万堂（ゴマンドウ）など地区の特徴を表したのも多い。

## 鉛筆について

今回の鉛筆まつりでは、絵画で個展を開催した山田安美さん（時又・五十二才）を取材しました。

個展は九月二十一日から、九月二十四日までの四日間、知久町の犬塚画廊で開催されました。

## 芸術の秋です

時又 山田安美さん

品などあり、取材を忘れずを楽しませてくれました。「リアリズム」についてお聞きすると、リアリズムとはリアルに描く、自分の思ったとおり・自分なりに描くと教えていただきました。成され、もう三十年以上も

昔は油絵を中心に描いて来ましたが、現在は水彩画を中心に描き、作品の大きさは十号から五十号くらいまでを描いています。この会は会員十五名で構成され、もう三十年以上も



毎月例会を持ち回りで、会員の自宅で開かれ、ホスト役の会員の作品を批評し合っているとのこと。又、スケッチ旅行も二年に一回行っているとのこと。また同会では、春に飯田

## 十周年を迎えて

竜丘地区夜間ソフトボール連盟会長

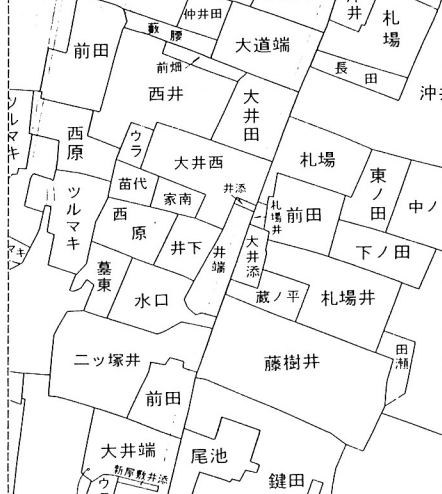
和田信雄

昭和五十五年、竜丘地区夜間ソフトボール連盟が発足し、早十年を迎えることができました。これも偏らぬ関係各位の維持・増進と、親睦の深まりを因りて、健康の要として早急に照明灯を設置していただきますよう強く要望致し、早期実現を願っております。

私事で申し訳ございませんが、竜丘に住んで十六年余と日が浅く、まだまだわからない事ばかりであります。夜間ソフトボール連盟に入り四年目。不得手でも良いから何事にも参加して地域の事を早く知ろうと頑張っている次第です。本年度、当連盟の会長という大役をいただき、会員各位、そして運営委員の皆様が立派に完成し、喜びと感謝に絶えません。私共では今のところ小学校の校庭を使用しておりますが、連盟の要望として早急に照明灯を設置していただきますよう強く要望致し、早期実現を願っております。

最後に、この十周年を一つの節目として、竜丘地区ソフトボール連盟が益々発展し、地区の皆様方に末長く愛される団体となり、より大勢の皆様にご参加いただき、ご健康で活躍していただきますよう切望いたします。

化祭等に展示された事もあったが他の地区でも後世に伝える意味からもこの様な事業を始める事が出来ればと望むところである。



## 体育館に響く歓声

去る七月二十三日、男女ミニソフトボール大会が、そして、九月十日には、男女混合バレーボール大会が行なわれました。ミニソフトボールは、誰もが気軽に参加できるスポーツとして、近年急速に普及してきました。今年度から、男子の部も設けられました。初戦は各チームとも、ボールが軽く柔らかい為、どう扱って良いのかとまどいが見られ、珍



現在、夜間ソフト、早起野球に若い人達の参加が少なく大変淋しく思います。スポーツ好きな皆さんのご参加を願ってやみません。さて、本年度、地区民の念願であった桐林運動広場が立派に完成し、喜びと感謝に絶えません。私共では今のところ小学校の校庭を使用しておりますが、連盟の要望として早急に照明灯を設置していただきますよう強く要望致し、早期実現を願っております。

最後に、この十周年を一つの節目として、竜丘地区ソフトボール連盟が益々発展し、地区の皆様方に末長く愛される団体となり、より大勢の皆様にご参加いただき、ご健康で活躍していただきますよう切望いたします。

【男子の部】優勝—上川路分館、準優勝—桐林分館、三位—駄科分館、四位—時又分館、五位—長野原分館。

【女子の部】優勝—上川路分館、準優勝—時又分館、三位—上川路分館、四位—桐林分館、五位—長野原分館。

男女混合バレーボールは、女六人、男三人の要則九人制で、後方の三分の一にラインを引き、男子はその範囲から出ないとい